

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社ココカラファイン 上場取引所 東
 コード番号 3098 URL <https://corp.cocokarafine.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 厚志
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部 (氏名) 森 俊一 (TEL) 045(548)5937
 総務部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	94,531	△7.6	1,777	△39.5	2,274	△37.1	1,379	△38.3
2020年3月期第1四半期	102,324	1.7	2,939	1.1	3,617	3.8	2,236	3.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,348百万円(△39.2%) 2020年3月期第1四半期 2,219百万円(1.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	46.05	—
2020年3月期第1四半期	93.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	205,153	139,613	68.1
2020年3月期	208,298	139,653	67.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 139,613百万円 2020年3月期 139,653百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	42.00	—	50.00	92.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	46.00	—	46.00	92.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	192,600	△7.5	2,100	△69.4	3,200	△60.2	1,700	△66.1	56.74
通期	387,900	△4.0	13,900	4.2	16,000	2.4	9,100	10.0	303.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社(社名)、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	31,412,085株	2020年3月期	31,412,085株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,441,118株	2020年3月期	1,451,881株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	29,961,594株	2020年3月期1Q	24,020,977株

(注) 当社は、「株式付与ESOP信託」を導入しております。
 期末自己株式数には、「株式付与ESOP信託口」が保有する当社株式(2020年3月期 73,861株、2021年3月期 1Q 63,045株)が含まれております。また、「株式付与ESOP信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染が拡大し、政府が緊急事態宣言を発出したこともあり、商業施設等の営業休止や営業時間短縮、インバウンド需要の急減、外出自粛による消費マインドの低下等が進み、極めて深刻な状況となりました。また、緊急事態宣言の解除後も経済活動の回復に向けた動きはあるものの、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社は医薬品や生活必需品を提供する地域のヘルスケアインフラとして、衛生管理の徹底や慎重な感染防止策を講じながら可能な限り店舗営業を継続いたしました。「人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献する」という経営理念を実践するとともに、お客様へのサービスや利便性を高めるための取り組みを継続し、グループ全社が一体となって、高収益体質への変革を推進しております。具体的には、①株式会社マツモトキヨシホールディングスとの資本業務提携に基づく早期シナジー実現への取り組み、②新規出店によるドミナント強化と規模拡大、③ココカラクラブカードやスマートフォン用アプリ「ココカラ公式アプリ」、SNSや共通ポイントを活用した全方位営業、④調剤事業における地域の方々の健康増進を支援する「健康サポート薬局」づくり、「かかりつけ薬剤師」の質の向上、遠隔服薬指導の取り組み、⑤基幹システム刷新や効率的な物流システムの構築を目的とした物流センターの自社化等、諸施策を推進しております。

当社が属するドラッグストア業界は、同業各社の積極的な出店やEC拡大による購買チャネルの多様化等により一層厳しさが増しております。また、調剤薬局業界においては、社会保障・医療の質に対する国民意識の高まりを背景に、高度な服薬指導、服薬情報の一元的・継続把握を行う「かかりつけ薬剤師」の育成や「健康サポート薬局」の展開、後発医薬品の使用促進等、多様な医療ニーズへの対応が求められております。

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりマスクや消毒用アルコールなどの関連商品の需要が増加し、また、外出自粛により食品の売上構成比が高い住宅地型や郊外型の店舗においては来店客数等の増加がありました。しかしながら、都市型店舗でのインバウンド需要や化粧品等の高付加価値商品の落ち込み、調剤事業における処方せん枚数減少等の影響をカバーすることができず、当第1四半期連結累計期間の既存店売上高は7.4%減となりました。また、出退店につきましては、新規13店舗を出店、12店舗を退店し、収益改善を図るとともに、3店舗の改装を実施し、店舗の新陳代謝を促進いたしました。当第1四半期連結会計期間末の当社グループ店舗数は、下表のとおり1,346店舗、調剤取扱店舗数は316店舗となりました。なお、健康サポート薬局は55店舗となりました。

その結果、売上高は、94,531百万円（前年同期比7.6%減）、営業利益1,777百万円（同39.5%減）、経常利益2,274百万円（同37.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,379百万円（同38.3%減）となりました。

[国内店舗数の推移]

	2020年4月1日 期首時点の総店舗数	出店	退店	業態変更	2020年6月30日 現在の総店舗数
ドラッグストア店舗数	1,145	+11	△11	—	1,145
（内、調剤併設店舗数）	(114)	(+1)	(—)	(—)	(115)
調剤専門店舗数	200	+2	△1	—	201
総店舗数	1,345	+13	△12	—	1,346
（内、調剤取扱）	(314)	(+3)	(△1)	(—)	(316)

業態変更：ドラッグストア店舗から調剤専門店舗への変更（または調剤専門店舗からドラッグストア店舗への変更）

[国内地域別店舗分布状況（2020年6月30日現在）]

地域	店舗数	地域	店舗数	地域	店舗数	地域	店舗数
北海道	31	山梨県	2	鳥取県	12	熊本県	15
宮城県	5	長野県	1	島根県	9	大分県	5
山形県	1	岐阜県	11	岡山県	8	沖縄県	6
福島県	3	静岡県	35	広島県	26		
茨城県	4	愛知県	100	山口県	72		
栃木県	3	三重県	60	徳島県	5		
群馬県	1	滋賀県	6	香川県	6		
埼玉県	40	京都府	47	愛媛県	4		
千葉県	26	大阪府	186	高知県	3		
東京都	251	兵庫県	102	福岡県	53		
神奈川県	62	奈良県	37	佐賀県	2		
新潟県	61	和歌山県	27	長崎県	18	合計	1,346

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、205,153百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,144百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金2,287百万円の減少、売掛金2,303百万円の減少、たな卸資産1,887百万円の増加、その他（未収入金他）433百万円の減少、有形固定資産87百万円の減少、無形固定資産102百万円の増加、投資その他の資産25百万円の減少等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、65,539百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,105百万円減少いたしました。主な要因は、買掛金2,484百万円の減少、未払法人税等2,008百万円の減少、賞与引当金1,063百万円の減少、その他流動負債（未払金他）2,337百万円の増加等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、139,613百万円となり、前連結会計年度末に比べて39百万円減少いたしました。主な要因は、配当金1,501百万円の支払いによる減少、当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益1,379百万円による増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後、新型コロナウイルスの感染拡大が業績に与える影響は不透明であるため、2020年5月13日に公表いたしました連結業績予想の修正は行っておりません。現状の見通しに変化がある場合は速やかにお知らせいたします。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,112	52,825
売掛金	24,225	21,922
たな卸資産	47,061	48,949
その他	13,726	13,292
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	140,123	136,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,658	12,727
土地	10,937	10,931
その他（純額）	5,635	5,485
有形固定資産合計	29,231	29,144
無形固定資産		
のれん	2,579	2,605
その他	4,866	4,942
無形固定資産合計	7,445	7,548
投資その他の資産		
敷金及び保証金	21,216	21,160
その他	10,462	10,491
貸倒引当金	△180	△178
投資その他の資産合計	31,498	31,473
固定資産合計	68,175	68,165
資産合計	208,298	205,153

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,771	40,287
短期借入金	300	300
未払法人税等	2,889	881
賞与引当金	2,112	1,049
ポイント引当金	3,653	3,574
その他	8,731	11,069
流動負債合計	60,459	57,161
固定負債		
株式給付引当金	219	234
退職給付に係る負債	4,596	4,920
資産除去債務	2,052	2,018
その他	1,316	1,203
固定負債合計	8,186	8,377
負債合計	68,645	65,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,184	20,184
資本剰余金	53,751	53,751
利益剰余金	72,359	72,237
自己株式	△6,436	△6,371
株主資本合計	139,859	139,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41	49
退職給付に係る調整累計額	△247	△238
その他の包括利益累計額合計	△206	△189
純資産合計	139,653	139,613
負債純資産合計	208,298	205,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	102,324	94,531
売上原価	74,830	68,952
売上総利益	27,494	25,579
販売費及び一般管理費	24,554	23,801
営業利益	2,939	1,777
営業外収益		
発注処理手数料	341	312
受取賃貸料	207	210
その他	360	247
営業外収益合計	909	771
営業外費用		
賃貸費用	223	243
その他	8	29
営業外費用合計	231	273
経常利益	3,617	2,274
特別利益		
固定資産売却益	—	2
その他	0	2
特別利益合計	0	4
特別損失		
固定資産除却損	7	6
賃貸借契約解約損	89	64
減損損失	19	8
関係会社株式評価損	104	—
その他	0	29
特別損失合計	221	108
税金等調整前四半期純利益	3,396	2,170
法人税等合計	1,160	839
四半期純利益	2,236	1,331
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△48
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,236	1,379

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	2,236	1,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	8
退職給付に係る調整額	8	9
その他の包括利益合計	△16	17
四半期包括利益	2,219	1,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,219	1,397
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△48

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。